

SOAR TO THE WORLD

さあ翔びたとう 世界へ！

令和9(2027)年度入学者用

国際バカロレア(ディプロマ・プログラム)認定校
海外帰国生徒特別募集実施校
学力向上進学重点校エントリー校
東京外国語大学高大連携協定校
清泉女子大学高大連携協定校
ドイツ外務省 PASCH 認定校
日仏高等学校ネットワーク COLIBRI 加盟校



神奈川県立 横浜国際高等学校〔単位制〕

Kanagawa Prefectural
Yokohama Senior High School of International Studies

全日制国際科

全日制国際科国際バカロレア(IB)コース



教育目標 School Mission Statement

We encourage our students to become self-reliant world citizens so that they can play an active role in the future as leaders not only in Japan but also throughout the world.

世界市民として自立し、将来、日本及び国際社会におけるリーダーとして活躍する人材を育成する。

国際科

英語・第二外国語をメインとした多彩な選択科目が準備され、言語を多面的かつ集中的に学び、高度な表現力を身に付けます。また物事を多角的に捉える姿勢を養い、広い視野と高いコミュニケーション力を身に付けた人材の育成を目指します。

→詳細は3～6ページをご覧ください。

国際科国際バカロレア(IB)コース

日本の高校卒業資格に加え、世界で使える大学入学資格（IB ディプロマ）の取得を目指します。日本語や英語で書かれた多くの資料を読み、考え、議論やプレゼンテーションを行い思考を深めます。知識を統合し、高度な思考・判断力を用いて世界の未来に貢献できる人材の育成を目指します。

→詳細は7～9ページをご覧ください。

教育方針 Educational Policy

- 国際化の進展に対応し、国際社会で広く活躍するために、他者と積極的にコミュニケーションを取ることができる人材を育成する。
- 多様な文化を理解し尊重する精神を身に付け、より平和な世界の構築を目指し、主体的に行動することのできる人材を育成する。
- 他者に対する敬意と思いやりを持ち、深い知性、健康な身体と豊かな感情をバランスよく備えた人材を育成する。
- 問題を多角的な視点から探求し、理性的・論理的に判断することのできる思考力と困難に挑戦する強い意志を備えた人材を育成する。
- 多彩な学習経験を通じて多面的な知識を身に付け、常に改善の努力をすることにより、生涯にわたって学び続けることのできる人材を育成する。

沿革

- | | |
|--------------|---|
| 平成 16(2004)年 | 神奈川県立六ツ川高等学校と神奈川県立外語短期大学付属高等学校の再編統合が決定 |
| 平成 20(2008)年 | 神奈川県立横浜国際高等学校開校 |
| 平成 22(2010)年 | 東京外国語大学と高大連携事業の協定書調印 |
| 平成 26(2014)年 | 文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定される（5年間） |
| 平成 31(2019)年 | 国際バカロレア機構より国際バカロレア校（ディプロマ・プログラム）に認定される
国際バカロレア（IB）コース開講
神奈川県教育委員会より国際バカロレア認定校に指定される |
| 令和 3(2021)年 | 神奈川県教育委員会より学力向上進学重点校エントリー校に指定される |

横浜国際高校は、平成 20（2008）年 4 月、単位制「国際情報科」の専門学科の高校として開校し、県立高校改革実施計画（1 期）により、平成 29（2017）年度入学生から「国際科」へ学科再編を行い、さらに平成 31（2019）年度には、世界共通のカリキュラムを展開する「国際バカロレア（IB）コース」を設置しました。また、令和 3（2021）年度には、県教育委員会より「学力向上進学重点校エントリー校」に指定されています。創立 20 年弱の間に数々のミッションを担いながら、「世界市民として自立し、将来、日本及び国際社会におけるリーダーとして活躍する人材を育成する。」を教育目標に、これまで歩んでまいりました。

本校の特色は、高度な外国語教育、国際交流、課題研究、そして IB 教育です。国際科では、英語及び 6 つの第二外国語を学べる環境にあります。また、平成 26（2014）年度からの 5 年間にわたる文部科学省による「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」の指定時に培った体系的な課題研究について、その内容の深化を図り、現在も継続しております。IB コースでは、平和な世界を築くことに貢献する探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目指したプログラムを展開し、国際的に認められる大学入試資格（ディプロマ資格）の取得を目指します。

本校の校歌は、詩人の谷川俊太郎さんの作詞によるもので、最後は、Soar to the world!（さあ、世界へ翔びたとう！）というフレーズで結ばれます。生徒全員が世界を舞台に力強く飛翔していくよう、多様な文化の理解と尊重の精神を基に、人間性豊かな人材の育成に努めてまいります。



校長 島 武彦

教育目標を達成するために

○高度な外国語教育

多様な科目を設置し、高度な言語運用能力を育成します。国際科では、さまざまな英語科目を通して、英語について多角的に学習する機会を提供しています。また、第二外国語科目（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の中から一つ選択）を 1 年次生必修とし、幅広く言語力を育成しています。さらに、ドイツ語は PASCH、フランス語は COLIBRI に加盟し、本国機関と連携した教育・交流も行っています。IB コースでは、英語を母語とする生徒を対象とした「English A」を設置し、レベルに応じた英語学習ができる環境を整えています。国際科・IB コース共に、少人数制の授業、ネイティブ講師によるサポートにより、きめ細かい指導を行っています。

○実践的な探究活動

実践的な探究活動を通して、論文執筆に求められるスキルを身に付けます。国際科では、総合的な探究の時間を通して系統的に課題探究を行い、3 年次には英語で論文を執筆します。また、IB コースでは、「アカデミックライティング」を 1 年次必修とし、リサーチスキルの基礎を固めます。その後、課題論文（EE）で特定の教科について、より専門的な研究に取り組みます。国際科・IB コース共に、本校での探究活動を大学入試の総合型選抜にも生かす生徒が多く、大学進学後も研究を継続する卒業生がいます。

○国際交流活動の充実

さまざまな国際交流活動を通じて、多様な文化を理解し、尊重する精神を育成します。姉妹校等訪問（ニュージーランド・台湾・韓国等）や、交換留学生の受け入れにより、異なる文化と直接触れ合うことができます。

○魅力ある学校行事

国際科の専門高校であることを生かし、多数の行事を行っています。

1 年次生全員が参加する YIS English Workshop では、ネイティブ講師や留学生と一緒に英語力の向上と国際的な視野の育成を目指します。昨年度は Global Studies Program（国際的なリーダーシップのあり方）について議論したり、生徒によるプレゼンテーションなどを行いました。

サマープログラムでは、体験的なプログラムに参加することで、豊かな世界観を育成します。昨年度は「外務省訪問」、「航空教室」、「日本チャンピオンからラテンダンスを学ぼう」「大学の授業を受けてみよう（日本史・世界史）」などが企画されました。



カリキュラム

必履修科目 Compulsory subjects	選択必履修科目 Elective compulsory subjects	選択科目 Elective subjects	
		自由選択科目 Optional subjects	専門科目 Other specialized subjects
現代の国語② Contemporary Japanese Language 言語文化② Language Culture	論理国語α④ Japanese Language (Logic) α 古典探究④ Advanced Classics ※この中から1科目選択	論理国語β④ Japanese Language (Logic) β 現代の国語（応用）② Contemporary Japanese Language (Practical Application) 国語表現② Japanese Language Expression 古典探究（古文）② Advanced Classics (Japanese) 言語文化（漢文）② Language Culture (Chinese)	英語の運用能力の向上をめざす 専門科目 総合英語Ⅰ（語法）② Comprehensive EnglishⅠ (Usage) 総合英語Ⅰ（アカデミック）② Comprehensive EnglishⅠ (Academic) エッセイライティングⅠ（語法研究）② Essay WritingⅠ (Usage Research) 総合英語Ⅱ（アカデミック）② Comprehensive EnglishⅡ (Academic) ディベート・ディスカッションⅠ（スピーチ）② Debate and DiscussionⅠ (Speech) イングリッシュ スルー メディア② English through Media サイトラーディング② Sight Translation Reading 小学校英語活動② English Communication Activities with Children
地理総合② Geography 歴史総合② Modern and Contemporary History 公共② Public	音楽Ⅰ② MusicⅠ 美術Ⅰ② Art and DesignⅠ 書道Ⅰ② CalligraphyⅠ ※この中から1科目選択	日本史探究③ Advanced Japanese History 世界史探究③ Advanced World History 日本史探究（研究）③ Advanced Japanese History (Research) 世界史探究（研究）③ Advanced World History (Research) 政治・経済② Politics and Economy	第二外国語の運用能力の向上を めざす専門科目 第二外国語Ⅱ② 外国語文化研究② Language Studies 外国語文化研究（発展）② Language Studies (Advanced)
数学Ⅰ② MathematicsⅠ	第二外国語Ⅰ③ ドイツ語 German フランス語 French スペイン語 Spanish 中国語 Chinese ハングル Korean アラビア語 Arabic ※この中から1つ選択	数学Ⅱ④ MathematicsⅡ 数学Ⅲ④ MathematicsⅢ 数学B② Mathematics B 数学C② Mathematics C 数学発展② Advanced Mathematics	上記科目の外国語とは、 ドイツ語 German フランス語 French スペイン語 Spanish 中国語 Chinese ハングル Korean アラビア語 Arabic の各言語を指します。
物理基礎② Basic Physics 化学基礎② Basic Chemistry 生物基礎② Basic Biology	学校指定履修科目 School's compulsory subjects	物理④ Advanced physics 化学④ Advanced Chemistry 生物④ Advanced Biology	異文化や国際社会に対する理解 の深化をめざす専門科目 国際理解② International Understanding 国際食文化② Food Culture around the World 国際情報社会と問題解決② Global Issues and Innovative Solutions 国際言語文化② Area Studies 時事問題研究② Advanced Current Issues in English
体育⑦ Physical Education 保健② Health	数学A② Mathematics A	情報Ⅱ② InformaticsⅡ	
家庭基礎② Basic Home Economics	総合英語Ⅱ④ Comprehensive EnglishⅡ 総合英語Ⅲ④ Comprehensive EnglishⅢ ディベート・ディスカッションⅡ② Debate and DiscussionⅡ エッセイライティングⅠ② Essay WritingⅠ		
情報Ⅰ② InformaticsⅠ			
総合英語Ⅰ③ Comprehensive EnglishⅠ ディベート・ディスカッションⅠ② Debate and DiscussionⅠ			
総合的な探究の時間 Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study S R① Subject Research P R① Project Research D R① Discussion and Research			

※①、②、③、④、⑦は単位数

カリキュラムの特徴

○英語の専門科目

普通科の高校で設置されている外国語（英語）科目の代わりに、英語の専門科目を設置しています。英語の必修科目と学校指定履修科目の中で、4 技能 5 領域を総合的に伸ばします。また、多彩な選択科目を組み合わせることにより、自分に合ったスタイルで英語力を磨くことができます。

○第二外国語

ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の科目を設置しています。1 年次において、全員がこれらの中から 1 言語を選び、「第二外国語Ⅰ」の科目を履修します。その後、2 年次では「第二外国語Ⅱ」・「外国語文化研究」を、3 年次では「外国語文化研究（発展）」を履修することで学習を深め、より高度な理解力・表現力を身に付けることができます。

○専門教科「国際」

専門教科「国際」を設置しています。「国際食文化」や「国際言語文化」の授業で多様な文化について学習したり、「国際理解」や「時事問題研究」などの授業で国際社会の諸問題に関する認識を深めたりします。これらの授業を通して、多様な文化を理解し尊重する精神や、問題を多角的に捉える視点を身に付けることができます。

科目履修の例

本校では、自分の興味・関心、進路希望などによって授業を選ぶことができます。卒業後に進学を希望する大学や学部等により、科目履修のパターンはさまざまです。ここでは進路希望別の履修の一例を紹介します。皆さん自身がどのように勉強していくかをイメージするのに役立ててください。（下表太枠内は選択科目です。）

年次	必修修科目・学校指定履修科目等																												各自が選択する科目				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1	現代の 国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	化学基礎	体育	保健	情報Ⅰ	総合英語Ⅰ	ディベート・ディスカッションⅠ	総合SR	LHR	芸術Ⅰ	第二外国語Ⅰ																
1 年次では多くの科目が必修修科目です。芸術Ⅰ（音楽・美術・書道）と第二外国語Ⅰ（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ハングル・アラビア語）が各自で選択する科目となっています。																																	

年次	必修履修科目・学校指定履修科目等																	受験型	選択科目															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
2	公共	生物基礎	体育	保健	家庭基礎	総合英語Ⅱ	エッセイ ライティングⅠ	総合 PR	LHR	国公立文系 (7教科8科目)	古典探究	世界史探究 日本史探究		数学Ⅱ		数学B		第二外国語Ⅱ																
										私立文系 (3教科3科目)				外国語 文化研究	イングリッシュ スル－メディア	ディベート・ディ スカッションⅠ (スピーチ)	総合英語Ⅰ (語法)																	
										国公立理系 (7教科8科目)	古典探究	化学	数学Ⅱ	数学B	総合英語Ⅰ (アカデミック)																			
										私立理系 (3教科3科目)	論理国語α																							
2年次では17単位分を全員共通の授業として履修します。										2年次から受験型に応じた選択科目を履修します。																								

年次	必修修科目・学校指定履修科目等											受験型	選択科目																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
3	体育	総合英語Ⅲ	ディベート・ディスカッションⅡ	総合DR	LHR	国公立文系 (7教科8科目)	世界史探究(研究)		論理国語β	言語文化 (漢文)	古典探究 (古文)	現代の国語 (応用)	小学校英語 活動	時事問題 研究	エッセイ ライティングⅠ (語法研究)	サイトラ リーディング	国際 言語文化 (発展)	外国語 文化研究 (発展)																
						私立文系 (3教科3科目)	日本史探究(研究)																											
						国公立理系 (7教科8科目)	物理 生物	数学Ⅲ	数学C	数学発展	ディベート・ディスカッションⅠ (スピーチ)	国語表現 活動	総合英語Ⅱ (アカデミック)	政治・経済																				
						私立理系 (3教科3科目)																												
3年次では11単位が全員共通です。						3年次では、多くの科目を受験型に応じて選択して履修します。																												

国公立文系：横浜市立大学などの国公立文系学部、7教科8科目型受験をめざす場合の履修例

私立文系：早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学などの私立大学文系学部をめざす場合の履修例

国公立理系：国公立理系学部をめざす場合の履修例

私立理系：私立理系学部をめざす場合の履修例

外国語教育と国際交流活動

○英語教育

英語の必修科目と学校指定履修科目では、文章読解・プレゼンテーション・ディベートなどの活動を行い、4技能5領域を総合的に育成します。また、多彩な選択科目により、リーディングやリスニングなどの特定のスキルを集中的に育成し、スピーチやエッセイライティングなどの科目により、英語の活用力の向上を図ります。少人数制の授業と経験豊富なネイティブ講師によるサポートで、きめ細かい指導を行っています。CEFR（語学力のレベルを示す国際標準規格）において、B1/B2 レベル以上を3年次生の到達目標とし、カリキュラムを設計しています。



小学校英語活動の様子

○第二外国語教育

1年次生は、全員が、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の中から1言語を選択します。希望者は3年間継続して第二外国語を学習することができます。ネイティブの講師による授業を通して実力をつけた多くの生徒がコンテストや検定試験にチャレンジし、実績を挙げています。さらに、言語の習得だけでなく、言語が使用される地域の社会・歴史・文化の理解に焦点を当てた学習も展開しています。



フランス語の授業

○国際交流活動

国際交流活動を充実させることにより多様な文化を理解し、尊重する精神を育成します。例年、姉妹校の訪問・受け入れを行っています。昨年度はニュージーランドの高校・台湾姉妹校への訪問および韓国姉妹校の受け入れを行いました。また、例年留学生の受け入れも行っています。昨年度はシンガポールからの留学生を受け入れ、交流を深めました。



韓国姉妹校との交流会

○外国語関連コンテストの実績（一部抜粋）

〈英語〉

- ・第15回全国高等学校英語スピーチコンテスト 準優勝
- ・第15回関東甲信越地区高等学校英語スピーチコンテスト 最優秀賞
- ・第71回チャール杯争奪全日本高等学校学生英語弁論大会 全国本選出場

〈ドイツ語〉

- ・国際ドイツ語オリンピック 2026 国内予選 審査員特別賞
- ・PASCH（ドイツ語特別校）国際青少年コース 2026 参加

〈フランス語〉

- ・第20回東日本高校生フランス語スケッチコンクール 第4位・第7位
- ・第13回東日本高校生フランス語暗唱コンクール 奨励賞

〈スペイン語〉

- ・第2回神田外国語大学主催高校生スペイン語スピーチコンテスト 部門A第3位・部門B第1位

〈中国語〉

- ・第43回全日本中国語スピーチコンテスト神奈川大会 朗読部門 最優秀賞
- ・第18回「漢語橋」世界中生中国語コンテスト日本大会 第3位
- ・第31回 高校生中国語発表大会関東地区 審査員奨励賞

〈ハングル〉

- ・「話してみよう韓国語」高校生全国大会 奨励賞

〈アラビア語〉

- ・全日本アラビア語パフォーマンスコンテスト 第6位

樋口怜奈（2025年度卒業）上智大学外国語学部ドイツ語学科

私は中学3年生のとき、たまたまYouTubeのオスমেに流れてきた「ドイツ留学vlog」を見て、漠然と「街並み綺麗だし、ドイツ語の発音かっこいいな」と興味を持ち始め、YISに進学しドイツ語を選択することに決めました。初めは英語とはまた違った細かい文法のルールにとっても苦労しましたが、それと同時に新しい世界が広がっていく感覚に胸が躍りました。加えてYISは、PASCH（未来のパートナー学校）という学校ネットワークに属しており、ドイツ語学習において手厚いサポートと機会を受けることができます。私は実際に「国際ドイツ語オリンピック 2024」の本戦に出場し、無料でドイツに10日間行かせてもらうことができ、素晴らしい経験になりました！現在は、さらにドイツ語を伸ばし、教育という私の興味にもアプローチができる上智大学のドイツ語学科に進学しております。



蓮池風子（在校生2年次）

私たちは、ニュージーランドの最大都市オークランドのMassey高校を訪問し、多様な背景を持つ生徒との交流を体験しました。登校初日にはマオリの伝統儀式で歓迎していただき、日々の生活にもマオリ文化との関わりを感じる機会が沢山ありました。私たちはソーラン節や折り紙体験を披露し、日本文化を介してバディと打ち解けることができました。言葉が完璧に通じなくとも、伝えようとする姿勢が大切だと感じた瞬間です。ホームステイでは、節水習慣や生活リズムなどの違いに驚く毎日でしたが、英語のみの生活に挑戦する中で、次第に失敗を恐れず意思疎通を楽しむ自分の成長を実感できました。のどかな自然や国を越えた出会い、日本との「当たり前」の違いに触れたこの研修は、私の視野を大きく広げるかけがえのない経験となったと感じています。



総合的な探究の時間

○総合的な探究の時間の特徴

平成 26 年度から平成 30 年度の 5 年間 SGH（スーパーグローバルハイスクール）に指定された際に開発した課題探究プログラム（SR・PR・DR）をさらに発展させた、系統的な指導計画を立てています。3 年間を通して、自らの興味・関心や課題意識から問いを立てて学術的に深め、その探究を、筋道を立てて他者に発表できるようになることが目標です。

1 年次

SR (Subject Research)

学問の問いを立てる

学問の探究を通して特定のトピックに関する理解を深め、問いを立て、自分の探究について説明できるようになることを目指します。ワークショップや講演会の内容を基に自分で問いを立てて、2,000 字程度のレポートの作成とプレゼンテーションを行います。



2 年次

PR (Project Research)

確かなデータを取る

自分の問いを解き明かすための計画を立て、調査することができるようになることを目指します。自分の問いについて情報収集と調査を行い、アカデミックな論文を書くスキルを身に付けるワークを通して、8,000 字程度の論文の執筆とプレゼンテーションを行います。



3 年次

DR (Discussion and Research)

英語で論文を執筆して発表する

課題を見つけ、その解決方法を英語で提案できるようになることを目指します。ネイティブの先生によるサポートを受けながら自分の研究を深め、英語での 1,500 語程度の論文の執筆と英語でのプレゼンテーションを行います。



○探究活動の支援体制

教員と一緒に行うワークショップに加えて、外部講師による講演会を開催しています。SR 講演会、PR 講演会では、大学院生を招いて、問いの立て方や学問分野に応じた研究の手法について学びます。また、DR 講演会では、卒業生の講演を通して、DR と大学における学びとのつながりを確認します。

図書館には探究活動に役立つ資料が充実しています。通常の図書に加えて、電子図書サービス「Over Drive」や学術文献データベース「ProQuest」等のオンラインデータベースも利用可能です。



SR 講演会

○リサーチクエストの例

- ・他地域の少数言語復興事例から考察するカルク語の話者数を増やすための効果的な策とは。
- ・日本の女性が自己のキャリアを追求しつつ、子育てと両立できる社会を構築するためには、どのような環境整備が求められるか。

後藤直緒（2025 年度卒業）立教大学異文化コミュニケーション学部

私は SR・PR・DR を通し、ジブリ作品の翻訳分析をもとに、異文化理解を促進する邦画の吹き替え翻訳の在り方を探究しました。1 年次の SR では興味関心を模索し、PR では、「翻訳と文化は密接に関わっており、訳出の過程には文化の違いへの配慮が求められる」という仮説を立てて研究を進めました。研究手法としては、日本文化を描いたジブリ映画の 2 作品において、日本語訳・英語訳を比較して違いを見つけ、その違いと文化の差の関連を分析しました。そして、そこから導き出した異文化理解を促す翻訳のあり方を DR で英語の論文にしました。海外の論文にも視野を広めて掘り下げていく、YIS ならではの探究活動は、みなさんの進路決定やその後の将来に役立っていくと思います。



泊琉太朗（在校生 3 年次）

私は、多文化的・多角的な視点を取り入れることで、一見不利に働くように見える「個人の特性」や「集団の性質」も、システムやアプローチ次第で強みに転換できると考えました。そこで、SR・PR では、日本社会で否定的に捉えられがちな「同調圧力」を、集団の成長を促進する力へと転換する探究を行いました。また、「個人の特性」は、その人が置かれる環境と切り離せないものなので、教育・テクノロジー・社会制度を融合させ、個人の存在が尊ばれる仕組みを考察したいと考えました。探究を進める中では、担当の先生方の支援もあり、好奇心を自らの問いとして形にしながら、校外を含めて発表する機会を得ることができました。正解のない問いに直面した際、批判的かつ多面的に捉えられる姿勢が重要だと実感しました。



国際バカロレア

○国際バカロレアとは

国際バカロレア（International Baccalaureate：IB）とは、1960年代にスイスで開発された、世界各国の学校で導入されている教育プログラムです。IBは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的とした「全人教育」です。

○国際バカロレアの理念

国際バカロレアは、上記の「全人教育」の目的のため、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、生涯にわたって積極的に、そして共感する心をもって学び続けるよう働きかけています。

○国際バカロレアの学習者像

「IBの学習者像」は、「IBの使命」を具体化したもので、「国際的な視野をもつとはどういうことか」という問いに対するIBの学習の取組みの中核を担っています。具体的には、IB認定校が価値を置く人間性を、右の10の人物像として表しています。



国際バカロレアコースが目指すもの

○ディプロマ・プログラム

本校の国際科国際バカロレアコースでは、IBの教育プログラムのうち16歳～19歳を対象とするディプロマ・プログラム（DP）を導入しています。DPは国際的に認められている大学入学資格（IBディプロマ資格）を付与する目的で、高度で充実した教育プログラムを実施するものです。

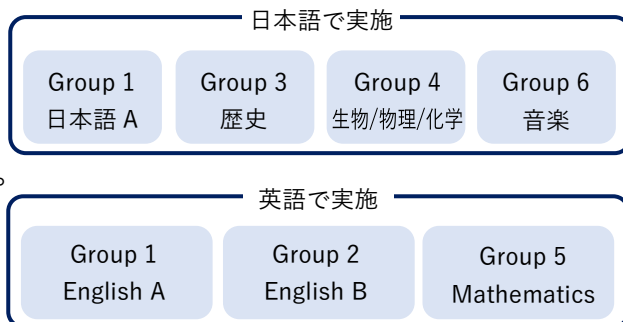
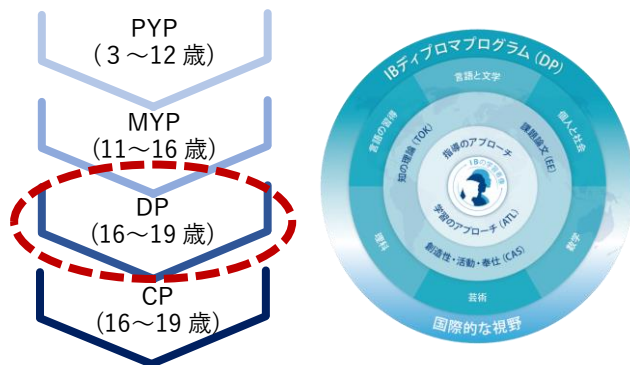
○デュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラム（DLDP）

国際バカロレアコースは、デュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラム（DLDP：日本語DP）です。DLDPはDP科目の一部を日本語で実施します。本校では、DP科目のうち英語と数学を英語で実施し、他の教科は日本語で実施します。

DLDPで取得したDP資格は英語DP等と同様の評価を受けることとなります。

○高等学校卒業資格とIBディプロマ資格

国際バカロレアコースのカリキュラムは、高等学校学習指導要領とIBが定める教育内容等の両方を満たしています。必要な科目を履修して所定の単位を修得し、高等学校卒業資格を取得します。学校内の評価及びIBによる評価（世界共通の統一試験等の結果）がIBの基準を満たすとIBディプロマ資格が付与されます。



国際バカロレアコースのカリキュラム

○年次履修科目

1 年次は、高等学校学習指導要領の定める必履修科目を中心に学習します。2・3 年次は、IB のカリキュラムに対応したディプロマ・プログラム科目（DP 科目）を中心に学習します。DP 科目は 1 年次の 1 月から履修します。

年次	履修科目
1 年次 (4～12 月)	言語文化、公共、地理総合、数学Ⅰ、科学と人間生活、体育、保健、音楽Ⅰ、ディベート・ディスカッションⅠ、アカデミックライティング、総合的な探究の時間、LHR
1 年次 (1～3 月)	体育、保健、アカデミックライティング、LHR、DP 科目（「コア」を含む）
2 年次	体育、保健、家庭基礎、IB 課題論文、LHR、DP 科目（「コア」を含む）
3 年次	体育、情報Ⅰ、IB 課題論文、LHR、DP 科目（「コア」を含む）

○DP 科目 6 科目 自分で教科横断型の学びをデザインする

DP では、幅広い学習分野を同時並行で学びます。授業では生徒同士の議論、調査、実験、検証、プレゼンテーションなどの活動が多く行われるため、授業以外での準備も必要になります。また、学習量が多くなり、大学での学びに備えた準備をより効果的に行うことができます。6 つのグループから 1 科目ずつ選択し、2 年間取り組みます。グループ 6 の音楽はグループ 4 の化学に代替することもできます。SL（標準レベル：6 単位）3 科目、HL（上級レベル：10 単位）3 科目を履修します。



グループ名	履修科目	使用言語
グループ 1 言語と文学 (母語)	日本語 A (SL/HL)、English A (SL/HL)：人間や社会の本質に読者を開く、文学性の高い作品（小説、戯曲、詩など）を批評することは、自己と世界を捉えなおすきっかけになります。また、文学作品以外にも、新聞記事やポスター、ブログなど幅広い素材を取り上げ、多角的に分析します。クラスメイトとディスカッションしながら解釈・考察をつくりあげていく喜びを一緒に味わいましょう。	日本語 (日本語 A) 英語 (English A)
グループ 2 言語習得 (外国語)	English B (SL/HL)：In English B, all communication (reading, writing, listening, and speaking) is done in English. Attitude toward learning English is the key to academic success. English teachers provide a variety of opportunities to develop international mindedness and language skills.	英語
グループ 3 個人と社会	歴史(SL/HL)：「考えるということは直面し抵抗することである」という言葉があります。社会は無数の事実の連関から織りなされます。しかしある社会的「事実」が事実であるとは、また「事実」と別の「事実」の間に「関係がある」とはどうして判断できるのでしょうか。グループ 3 では、歴史的な史資料や概念を用いながら、我々の社会構造がいかに構造化され、ないし個別化されているのかを、学術的に探究しながら、物事に「直面し抵抗する」難しさと楽しさを学びます。	日本語
グループ 4 理科	物理(HL)、化学(SL/HL)、生物(SL/HL)：私たちの世界は全て物質でできています。ずっと昔から人間はこの世界の物質や自然現象についての「なぜ？」を探究し続けてきました。科学とは何でしょうか。グループ 4 の授業では物理学、化学、生物学の各分野から様々な「なぜ？」に答えようとすることで科学の本質 (Nature of Science) に迫ります。	日本語
グループ 5 数学	Analysis and approaches(SL/HL)：数学の授業では、生徒たちが協力して例題や演習問題を解説するなど、生徒同士が協働で学び合う授業を実践しています。この形式で数学を学んだ生徒からは、「より深く理解でき、知識の定着が実感できる」と大変好評です。	英語
グループ 6 芸術または 選択科目	音楽(SL)：音楽理論を身に付け、作曲編曲など、自分の手で作品を創り出す喜びを味わいます。また、楽器や声楽の演奏を通し、表現活動に取り組みます。そのため楽器経験は必須です（ピアノの場合、ドビュッシー「月の光」程度）。自分やクラスメイトの作品を分析し、音楽とは、表現とは何かを探っていきます。 ※代わりにグループ 4 から化学を選択することができます。	日本語

ODP 科目必修要件「コア」 分析的な思考と学びの基礎を作る

〈知の理論〉 TOK: Theory of Knowledge

自分が「知っている」と他者が「知っている」ということはどのように違うのでしょうか。またその違いにより、社会にどのような状況が発生するのでしょうか。この科目では、「知識」とはどのようなものを分析し、それがどのように構築されているものかを探究していきます。プレゼンテーションと論文提出により、学習の成果を表現します。

TOK の問いの例

- ・議論の余地がある主張とそうでない主張を、私たちはどのように区別しているのか。
- ・知識によっては、倫理的な理由から追求されるべきでないものがあるのだろうか。
- ・「問いかけることのできない答えをもつよりも、答えることのできない問いかけをもつ」ほうが良いことなのか。

〈創造性・活動・奉仕〉 CAS: Creativity / Activity / Service

芸術などアイデアを探究し作品やパフォーマンスを創造する活動 (Creativity)、健康的なライフスタイルを身に付けるための身体的活動 (Activity)、コミュニティのニーズを見つけ、他者とともに共同で活動し、相互扶助に取り組む活動 (Service) の 3 種類の体験的な学習に取り組みます。自分の長所や今後成長が求められる分野を認識する機会にもなります。

CAS の例

- ・SDG s みらい甲子園で政策提言 (Creativity)
- ・体力づくりと環境保護のためのゴミ拾い登山 (Activity)
- ・子どもを貧困から救うためのチャリティーコンサートの開催 (Service)



〈課題論文〉 EE: Extended Essay

生徒各自が、履修している DP 科目に関連した研究分野について特に興味のあるトピックを 1 つ選び、個人研究に取り組みます。また、研究成果を日本語で 8,000 字 (または英語で 4,000 語) までの論文にまとめます。大学での探究的な学びに必要とされるリサーチスキルや記述力を身に付けることができる科目です。

課題論文のタイトルの例

- ・粉末活性炭の濃度の違いは、トマトがコマツナの根長と主軸長に与えるアレロパシー効果をどう変化させるか。
- ・漫画『もののけ姫』の戦闘シーンにおいて、作者はどのような言語的工夫を施して戦闘シーンを描き、それらはどのような効果をもたらしているのか。
- ・How RSA encryption and Discrete Logarithm Problem provide security in the public key cryptography mathematically?



マーシーポー (在校生 3 年次)

IB 教育の魅力は、学問を通して人を知り、世界を多角的に見渡す力が養われる点にあると考えます。Group 4 では自然科学者として論文を執筆し、データに基づいて客観的・論理的な正しさを追求します。その一方で、TOK や History では答えのない問いに向き合い、正しさが倫理的にどのような意味を持つのか、また前提自体が妥当なのかを問い続けます。こうした異なる学問領域の課題に取り組む中で、私たちは次第に自分自身や身近な人間関係についても批判的に考え直すようになります。その結果、世界の権威ある意見だけでなく、見過ごされがちな小さな声に少し目を向けられるようになったと感じています。論理と倫理の両面から物事を捉える視点こそがこれからの時代に必要とされる力であり、これは IB での学びがもたらす大きな価値だと私は感じています。



市毛春菜 (2025 年度卒業) 広島大学医学部

私が考える IB の最大の魅力は、多様な価値観をもつ個性豊かな仲間とともに、生徒主体の授業を通じて、数多くの挑戦と新たな発見に出会えることです。特徴的だと思うのは、「正解が一つに定まらない問い」に真摯に向き合う学びの姿勢です。なかでも TOK という科目では、与えられた問いに対して具体的な現代社会の事例を自分で探し出し、それを根拠として自分の視点から論理的に考察していく力が求められます。同じ問いを設定したとしても、扱う現代社会の事例や、問いに対するアプローチ、そこから導き出される結論も一人ひとりで異なることが非常に興味深いです。今日の世界で求められているのは、自分自身の考えを言語化し、深い議論ができる人材だと思います。IB コースでの学びを通して世界で活躍するための力を培うことは、非常に価値ある経験だと感じています。



学校施設・標準服



自習室

授業のない時間や放課後の自学自習に多くの生徒が活用しています。



ウォーターサーバー

ペットボトルの使用削減のためマイボトルの利用を推進しています。



BYOD 環境

全教室にネットワーク環境を整備し、主体的・対話的で深い学びを推進しています。



個人用ロッカー

生徒昇降口と各教室に生徒全員の個人用ロッカーを配置しています。



CALL 教室

外国語の 4 技能 5 領域育成のため、CALL（コンピュータ・アシステッド・ランゲージ・ラーニング）教室を 2 か所配置しています。



ガイダンスルーム

難関大学を中心に多くの過去問を整備し、進路実現を支えています。



YIS ホール

220 名収容可能のホールです。授業や講演会などで活用しています。



ステンドグラス

新館を除く 3 棟の 1・2 階部分はステンドグラス付きの吹き抜けになっており、開放的な造りになっています。



標準服

「OLIVE des OLIVE」のブレザーを標準服として採用しています。スカート、スラックス、ワイシャツなどについては学びの場にふさわしいものを自分で選択し、着用します。式典や外部講師を招いた講演会等で標準服を着用します。



新館

IB コースの授業等のために、令和 2 年度に新館を建設しました。

その他の設備

国際交流ホール：最大 160 名を収容可能なホール。備え付けのプロジェクターや音響機器も整備されており、年次全体の講習や日常の授業などでも活用されています。

セミナー教室：8 教室あります。外国語を中心に 10 名程の少人数授業の展開に活用しています。

コンピュータ室：3 教室あります。そのうちの 1 教室は可動式の机・椅子を配置し、1 年次の English Workshop などの行事や、グループワークを用いた授業などに活用されています。

学校行事

4月

- ・入学式
- ・対面式
- ・部活動オリエンテーション

5月

- ・新入生歓迎会
- ・社会見学
- ・前期中間試験
- ・卒業生による進路講演会

6月

- ・球技大会

7月

- ・前期期末試験
- ・サマープログラム

8月

- ・サマープログラム
- ・YIS英語スピーチコンテスト

9月

- ・YISフェスタ（文化祭）

10月

- ・IBコース最終試験
- ・台湾姉妹校受入予定

11月

- ・IBコース最終試験
- ・後期中間試験
- ・国際科DR発表会

12月

- ・修学旅行（台湾）
- ・国際科SR発表会
- ・YIS English Workshop
- ・韓国姉妹校訪問予定（令和8年度）

1月

- ・大学入学共通テスト
- ・IBコースTOK展示会

2月

- ・後期期末試験

3月

- ・卒業式
- ・国際科PR発表会
- ・球技大会
- ・英語圏学校訪問研修予定（令和8年度）



YIS English Workshop



サマープログラム「外務省訪問」



YIS フェスタ（文化祭）



修学旅行（台湾）



球技大会

部活動・同好会・委員会

文化部

吹奏楽部	ボランティア部
軽音楽部	エンターテインメント部
合唱部	競技かるた部
美術部	インターアクト部
演劇部	模擬国連部
茶道部	パントマイム部
放送部	

藤原康太郎（在校生 3 年次：令和 7 年度地域連携委員長）

横浜国際高校は、生徒一人ひとりの主体性を大切にしながら、自分の夢や進路に向かって本気で挑戦できる学校です。地域連携委員会では、生徒が主体となって、他学年の生徒と協力しながら学校説明会を作り上げています。生徒が主体で行うことによって中学生との距離が近くなり、在校生だからこそ伝えられる思いや魅力を直接届けられるところに大きなやりがいを感じています。YIS には、生徒自身が主体となって学校をより良くし、自分の思いを形にできる委員会がたくさんあります。ぜひ YIS に入学し、皆さんと一緒に活動できることを楽しみにしています！



運動部

男子サッカー部	バドミントン部
女子サッカー部	チアリーディング部
ラクロス部	陸上競技部
テニス部	弓道部
バスケットボール部	ダンス部

藤原由崇（在校生 2 年次：模擬国連部）

Motion!! みなさんは『模擬国連』を知っていますか？模擬国連とは私たち学生が実際の国連会議の場を模擬し各国の大使になりきる活動です。模擬国連では毎回の会議、大会でドイツやツバルなど色々な国の大使になることから毎度、新たな発見や学びを得ることができます。会議や大会では準備が肝で当日は自国益と全体での合意を天秤にかけ議論することから知識だけでなく思考、交渉、語学などの力を得られ、この経験は普段の生活や将来にも生かすことができとても有意義です。さらに、大会では日本だけでなく世界の高校生とも交流することができ人脈も広がります。最後に、自由な校風の YIS は責任も伴いますが、あなたが何者にもなれる可能性をもった場所です。そんな YIS で一緒に模擬国連を楽しみませんか？



同好会

バレーボール同好会	SDGs 同好会
-----------	----------

委員会

図書委員会	保健委員会
環境委員会	国際交流委員会
地域連携委員会	文化祭実行委員会
新入生歓迎委員会	球技大会実行委員会
選挙管理委員会	評議委員会

池田凜（在校生 3 年次：陸上競技部）

私は陸上競技部に所属して、全国の舞台に立ちたいという目標のもとに練習を重ねました。一度は関東大会まで出場しましたが、苦しい時期も続きました。しかし、そうした思い出も含めて、陸上競技部で過ごした時間のすべてが私の糧になっていると感じています。心を揺さぶるほどに何かに打ち込み、自分が心から何かを欲して全力で努力したことに代えがたい価値があるのだと後になって気が付きました。この学校には、自分が本気でかなえたい夢を全力で支えてくれる環境があります。一緒にひたむきに努力できる仲間がいます。部活動という場は、自分にとって何が大切か気づかせてくれる場所なのだと思います。皆さんも、ぜひ YIS の部活動で様々な活動に取り組んでください。



進路指導

国際科・IB コースそれぞれの特徴を踏まえ、チューター制度や海外進学支援教員・カレッジカウンセラーの設置をするなど、生徒一人ひとりの進路実現に向けたきめ細やかな取組が本校の特徴です。

○進路に関わる行事一覧（2026 年度予定・一部抜粋）

	1 年次	2 年次	3 年次
説明会	生徒対象進路説明会 国際科保護者対象進路説明会 模試振り返り講演会	生徒対象進路説明会 国際科保護者対象進路説明会 模試振り返り講演会	生徒対象進路説明会 国際科保護者対象進路説明会 生徒対象入試説明会
英語外部試験	TOEFL ITP	TOEFL ITP (IB コースを除く)	TOEFL ITP (IB コースを除く)
模擬試験など	国際科スタディサポート 国際科記述模試 (3 回)	国際科記述模試 (3 回)	国際科記述模試 (2 回) 国際科マーク模試 (2 回)
講演会・ ワークショップ	卒業生による講演会 海外進学ワークショップ 総合型対策ワークショップ	卒業生による講演会 海外進学ワークショップ 総合型対策ワークショップ	卒業生による講演会 海外進学ワークショップ 総合型対策ワークショップ

○本校の進路指導の特徴

〈チューター制度〉

希望する進路に応じた教員によるサポートが受けられるチューター制度を整え、教科の枠を越えた関心から、日々の学習に関する相談まで、柔軟に対応しています。

〈海外進学支援・カレッジカウンセラー〉

海外進学支援・カレッジカウンセラーの教員が、進学を希望する国や地域の大学等の情報や、出願手続きについての情報を提供するなど、海外大学への進学に関する情報発信も行っています。

〈英語外部試験と模擬試験〉

毎年 TOEFL ITP を実施しています (IB コース 2・3 年次を除く)。これにより自分の英語力の伸びを実感するとともに、英語学習を振り返ることができます。また、国際科では定期的に模擬試験を実施しています。

〈模擬面接〉

3 年次より、総合型選抜・学校推薦型選抜の受験予定者との面接練習を実施しています。英語面接の対策にも対応しています。

〈講演会・ワークショップ〉

進学に関する様々なイベントを実施しています。様々な情報を得ることで、多角的な視点で自分の進路を検討することができます。



卒業生による進路講演会 in YIS ホール



東京外国語大学キャンパスツアー

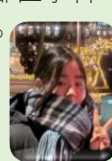
遠藤萌衣（2025 年度卒業）早稲田大学法学部

YIS の魅力は高度な外国語学習と探究活動にあると思います。英語では、総英や DD など必修科目に加え、2 年時からの選択科目である English through Media など、英語で学べる授業が充実しています。私は留学や英会話に通ったことはありませんが、日々の学習により 3 年時には英検 1 級を取得しました。第二外国語はスペイン語を選択し、スピーチコンテストやシンポジウムにも参加しました。探究活動ではフィリピン貧困地域の子どもたちへの支援をテーマに取り組み、それが現在の進路や将来の目標に繋がっています。私は、自分の興味関心や強みを発見できるのが YIS の探究活動の魅力だと思います。難しい課題も沢山ありましたが、支えてくださる先生方の存在も大きく、YIS での学びはかけがえのない財産になると感じています。



高橋百合（2025 年度卒業）自治医科大学医学部医学科

学生生活を通して学んだことは「何を喋るか」より「何を喋るか」がより大切であるということです。最初は語学に惹かれて入学した高校でした。事実、語学の授業は高度で、選択授業を組み合わせ、実力を伸ばすことができます！YIS で培った英語の力に何度も助けられました。けれど、言語はあくまで意思疎通のツールです。何を喋るかが大切です。YIS では SR などを通して、何がしたいのかを考えることができます！私の場合は医学ですが、挑戦することができる環境が整っています。大学では医学を学び「何を喋るか」の中身を満たしていきたいと思っています。YIS で過ごした 3 年間はかけがえのない思い出です。語学ともう一つの学問の二刀流をめざせると思います！



国際科 2025 年度卒業生 合格状況（主な大学）

大学名(国公立)	現役生
国際教養大学	1
千葉大学	1
東京外国語大学	2
横浜国立大学	2
東京都立大学	1
横浜市立大学	9

大学名(私立)	現役生
青山学院大学	14
学習院大学	4
神奈川大学	9
北里大学	3
関東学院大学	3
慶應義塾大学	7
國學院大学	4
国際基督教大学	1
自治医科大学	1
芝浦工業大学	1

大学名(私立)	現役生
昭和女子大学	1
上智大学	16
成城大学	3
成蹊大学	2
専修大学	6
中央大学	20
津田塾大学	5
帝京大学	3
東京女子大学	1
東京都市大学	1
東京理科大学	2
同志社大学	1
東洋大学	14
日本女子大学	3
日本大学	15
武蔵大学	1
法政大学	11
明治学院大学	14

大学名(私立)	現役生
明治大学	12
立教大学	22
立命館大学	1
立命館アジア太平洋大学	1
早稲田大学	6

大学名(海外)	現役生
Augustana University	1
Beloit College	1
DePauw University	1
Knox College	1
Lake Forest College	1
North Central College	1
Ohio Wesleyan University	1
St.Olaf College	1
Temple University, Japan Campus	1
台湾師範大学	1
北京大学	1

国際バカロレアコース 2025 年度卒業生 合格状況（主な大学）

大学名(国公立)	現役生
岡山大学	1
広島大学	1
北海道大学	1
横浜市立大学	1
国際教養大学	1
都留文科大学	1

大学名(私立)	現役生
慶應義塾大学	3
芝浦工業大学	1
上智大学	1

大学名(私立)	現役生
神奈川大学	1
中央大学	1
東京理科大学	1
同志社大学	1
豊田工業大学	1
明治大学	1
立教大学	1
立正大学	1
立命館アジア太平洋大学	1

大学名(海外)	現役生
Eindhoven University of Technology	1
Foothill college	1
Griffith University	1
Macquarie University	1
The University of Melbourne	1
The University of Queensland	1
The University of Sydney	2
Torrens University	1
UMass Dartmouth	1
UMass Lowell	1
University of Technology Sydney	1
University of Vermont	1
University of Western Australia	2

本校へのアクセス Access

〈おもな駅からの所要時間〉

 JR
 私鉄
 横浜市営地下鉄
 数字は弘明寺（京急又は市営地下鉄）
 までのおおよその所要時間（分）



〈学校案内図〉



〈利用交通機関〉

- 京浜急行弘明寺駅より徒歩 20 分
又は「弘明寺口」よりバス 5 分
「大池」下車徒歩 6 分
- 横浜市営地下鉄弘明寺駅より
徒歩 12 分「弘明寺口」よりバス 5 分
「大池」下車徒歩 6 分
- JR 戸塚駅より
「戸塚駅東口」よりバス 20 分
「大池」下車徒歩 6 分

☐ 学校説明会

本校 WEB サイトよりお申し込みください。

7 月 24 日(金) 9:00～ / 11:00～

8 月 22 日(土) 9:00～ / 11:00～

10 月 17 日(土) 9:00～ / 11:00～

12 月 12 日(土) 9:00～ / 11:00～

☐ 国際バカロレア(IB)コース説明会

本校 WEB サイトよりお申し込みください。

8 月 1 日(土) 9:00～ / 11:00～

☐ 公私合同説明・相談会(横浜南地区)

詳細は専用 WEB サイトをご確認ください。

8 月 4 日(火) 関東学院大学(関内キャンパス) ※公私合同説明・相談会以外のイベントは本校にて実施します。

☐ YIS 英語スピーチコンテスト

詳細は本校 WEB サイトをご確認ください。

8 月 29 日(土) 13:00～

☐ YIS フェスタ(文化祭)

本年度よりキャッシュレス決済となります。

詳細は本校 WEB サイトをご確認ください。

9 月 18 日(金)・19 日(土)

☐ 国際バカロレア(IB)コース体験授業

10 月 17 日(土) 9:00～10:10 /

11:00～12:10

詳細は本校 WEB サイトをご確認ください。



神奈川県立横浜国際高等学校

〒232-0066 神奈川県横浜市南区六ツ川 1-731
TEL 045(721)1434 FAX 045(742)9493

横浜国際高校

